

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪真空工業株田工場新築	階数	地上3F
建設地	大阪府交野市星田北一丁目379-1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年11月22日
敷地面積	4,420㎡	作成者	山本盟
建築面積	1,847㎡	確認日	2018年12月5日
延床面積	4,254㎡	確認者	山本盟



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物を道路際から離す事により、周囲のまちなみに配慮した。 また、LED照明を採用し建物内の環境に配慮した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
室内の仕上げにはF☆☆☆☆の性能を持った製品を採用し室内環境に配慮した。	リフレッシュスペースを広く取る事により職員の快適性に配慮した。	植栽を適切に配置する事により室外環境に配慮した。また、排熱設備は地上から離して設ける事により温暖環境にも配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
照明器具は消費電力を小さく抑えることのできるLED照明を採用する事で、省エネルギー性に配慮した。	トイレの便器を節水型に選定し水資源の保護に配慮した。	駐輪場・駐車場を適切に配置し、敷地外駐車を行わない様配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0114

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪真空工業(株)星田工場新築工事					
	建設地	大阪府交野市星田北一丁目379-1, 383-1, 385-4					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					評価対象外	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		-
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特になし	